

令和2年度 総社小学校 学校評価書資料

学校経営目標	令和2年度 具体的計画	年度始め		中間評価		最終評価				
		2年度の達成規準	主な取組	達成状況(中間)	評価	今後の取組	達成状況(最終)	評価	来年度へ向けて	
1 心の教育の充実	【やさしい子】 ①道徳教育、人権教育、総社っ子応援プロジェクトの取組を充実することにより、児童同士の絆や思いやりの心を育て、長期欠席・不登校やいじめの未然防止に努める。 ②「すきだ総社小学校運動」すんで挨拶、きちんと整頓、だまって掃除を推進するとともに愛校心を育てる。(総社を愛す子供)(心優しい子供)(礼儀正しい子供)	①思いやりの心をもって生活しているという回答が85ポイント以上である。(児童・保護者・教職員) 【人間関係・特別支援教育】	・相手と大切にする名前の呼び方や言葉遣いができるようになる。 ・異学年へのピア・サポートでは、ピア・サポートの目的意識をしっかり持たせ、SELの指導をしたり活動後の振り返りの充実を図ったりする。 ・学年で歩調を合わせて、各学級での協同学習や仲間づくりの活動を積極的に進め、支持的風土をつくる。 ・児童それぞれのよい行いを教員や児童同士が見つかる活動を積極的にに行い、互いに認め合い動かし合うことが自然にできるようにする。	○周りの人への優しさ 児童:84.8p ○周りの人の優しさ 児童:86.7p ○思いやり 保護者:83.6p 教職員:81.5p	B	・学年に応じた思いやりについて、道徳科の学習や学級活動の時間を中心に、さまざまな場面をとらえて指導する。教職員が意識して児童にフィードバックする。 ・周りの金や帰る前などに、必ず良い行動をお互いにほめる活動を取り入れる。(今日のキラキラさん、よかったこと見つけなど)児童に振り返って価値づける活動を大切にしている。				
			②進んであいさつができてきているという回答が85ポイント以上である。(児童・保護者・教職員) 【人間関係・特別支援教育】	・朝のあいさつ運動はできているが、声の大きさだけになっている。(昨年度のアンケートで指摘があった。) ・児童は自分たちでは頑張っている、あいさつができてきていると思っている。 ・児童会や生徒指導等からも取組を工夫し、「いつでも」「どこでも」「だれにでも」自分からあいさつができるようにする。	児童:80.0p 保護者:78.4p 教職員:86.5p	B	・地域の方への感謝の気持ちを伝える。 ・週目標に「地域でのあいさつ」を入れる。あいさつ運動の推進を具体的に児童に示すことが大切。 ・場所や相手、また場面でのいろいろなあいさつの仕方(種類)を児童に知らせる。あいさつをしてもらったら、にこっと笑うとか会釈をするとかができるようにする。			
2 健康・体力づくりの推進	【たくましい子】 ③健康教育、特別活動を充実することにより、児童に基本的な生活習慣を身に付けさせる。総社東中学校ブロックの学校園と連携し、ノーメディアの取組を推進する。 ④目標を持って主体的に体力づくりに取り組み、体力の向上を図るとともに最後まで粘り強く頑張る態度を育てる。	③感染症対策として手洗い・うがい、マスクの着用、換気を行っているという回答が90ポイント以上である。(児童・保護者・教職員) 【保健安全】	・今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を中心に、手洗いの励行やマスクの着用、換気などについて繰り返し指導し、習慣として身に付くようにする。 ・全校放送での手洗いの呼びかけや生徒指導による3密回避の必要性の指導等の指導を工夫し、新しい生活習慣について理解を深め感染症対策に取り組むようにする。	児童:87.3p 保護者:92.5p 教職員:90.4p	B	・校内放送や掲示物等で継続して指導する。手洗いとマスクの着用、換気については、新しい生活習慣として身に付くように粘り強く指導する。 ・区切りとなる時期に、もう一度意識しなおすように、指導を繰り返す。				
			④睡眠とメディアコントロールを中心に、基本的な生活習慣が身に付くように取り組んでいるという回答が80ポイント以上である。(児童・保護者・教職員) 【保健安全】	・早寝早起き朝ごはんやメディアコントロール等、基本的な生活習慣を身に付けて健康な生活が送れるような取組や家庭への啓発に努める。 ・家庭との連携に向けて、睡眠・メディアとの付き合い方・バランスの良い食事等の基本的な生活習慣について参観日の授業や懇談・学年通信等で取り上げる。	児童:79.5p 保護者:76.1p 教職員:78.8p	C	・メディアコントロール週間を中心に、粘り強く声掛けや啓発に取り組む。 ・メディアとの付き合い方について、個人で目標を決めているので、目標を意識するような声掛けをしていく。			
			⑤自分から進んで運動しているという回答が80ポイント以上である。(児童・保護者・教職員) 【保健安全】	・完成した運動場と南広場を有効に使い、体力の向上を図る。運動場や遊具の使い方を全教職員で共通理解して指導し、安全に楽しく運動ができるようにする。 ・体育の授業では、めあてを持って運動ができるように工夫する。 ・運動委員会を中心に取組を企画・運営し、外で体を動かす楽しさが味わえるようにする。	児童:80.9p 保護者:75.7p 教職員:82.2p	B	・学校での運動や遊びの様子を家庭に伝えて、家庭との連携を図る。 ・委員会等を中心に、体づくりなどの具体的なメニューを提案し、体を動かす楽しさを伝える。 (チャレンジランキング・体づくり・ラジオ体操など)			
3 確かな学力の育成	【すすんで学ぶ子】 ⑤児童が主体的・対話的で深い学びを実践し確かな学力が身に付けることができるように授業改善を行う。特に、考える活動や書く活動を重視する。 ⑥朝学習や絵小チャレンジタイム、家庭学習の充実を図り、基礎学力の定着を目指す。	⑥自分の考えや振り返りを書いているという回答が90ポイント以上である。(児童・教職員) 【学力向上】	・新学習指導要領の求める力について校内研修等で全教職員に理解を促し、授業改善を目指す。 ・授業の中で、自分の考えや理由を書く活動を積極的に取り入れるとともに、振り返りの充実を図る。 ・振り返りの視点や書き方の例を示すなどして、書くことが難しい児童も意欲的に取り組むことができるよう適切な支援を行う。	児童:80.2p 教職員:81.4p	C	・書く活動の重要性を教職員で再確認し、授業の中で書く時間を確保する。 ・学習の振り返りの視点を共通理解して指導する。				
			⑦国語と算数の単元テストの正答率8割以上の児童が、80%以上である。(教職員) 【学力向上】	・新学習指導要領の求める力について校内研修等で全教職員に理解を促し、授業改善を目指す。 ・基礎的な内容理解が不十分な児童には個別支援を行うとともに、家庭との連携を進める。	教職員:78.9p	C	・毎週火・木曜日の朝の学習(基礎的内容)と水曜日の総チャレ(発展的内容)の時間の充実を図り、学年で統一した取組を進める。			
			⑧家庭で学年×10分+10分勉強しているという回答が80ポイント以上である。(児童・保護者・教職員) 【学力向上】	・授業と家庭学習の関連付けを継続して行う。 ・アイスノートに限らず、家庭学習のよい取組を児童に伝えていく。 ・懇談や通信で家庭学習のねらいや方法を伝えることで、保護者と連携を図っていく。	児童:82.4p 保護者:74.5p 教職員:74.2p	B	・宿題+自主勉強で、目標時間が達成できるように指導する。 ・児童が目標時間を達成しやすいように、宿題の量などを学年に応じて調整する。			
4 地域とともにある学校づくり	⑦各種の便り、ホームページの更新、学校評価、学校公開等により、積極的に情報を発信する。 ⑧きらめきEASTの幼稚園、小・中学校や家庭・地域・関係機関等との連携を深め、児童の健やかな成長を図る。	⑨学校から積極的に情報発信が行われているという回答が85ポイント以上である。(保護者・教職員)	・各種の便りやホームページの更新、学校評価、学校公開等により、積極的に情報を発信する。特に、ホームページは、適宜更新するように努め、タイムリーな情報提供を心掛ける。 ・学級懇談や個人懇談等の対話やPTAの会議等の機会を利用して情報収集に努め、受け手である保護者を意識した情報発信を行う。 ・保護者と普段からの電話や連絡帳、家庭訪問等による連絡をとり、連携を図る。	保護者:83.6p 教職員:81.3p	C	・ホームページ担当を中心に、タイムリーなホームページの更新を行う。 ・コロナ禍での行事の変更や日程の変更等について、決まり次第正確な情報を発信するように努める。				
			⑩安心・安全な学校生活を送るために、学校内外の安全確保の取組を行っているという回答が85ポイント以上である。(児童・保護者・教職員)	・学校の整備工事での状況を的確に把握し、保護者・地域との連携により児童の安全を第一に考えて対応する。 ・学校支援ボランティアと協力して、登下校の安全確保に努める。 ・新校舎や新運動場、遊具等の使い方やルールを教職員で共通理解を図って指導し、ルールを守って安全に生活できる児童を育成する。	児童:87.2p 保護者:85.0p 教職員:89.7p	A	・コロナウイルス感染症対策と熱中症予防の両方を踏まえて、学年下校の方法を定着させて、安全な下校ができるようにする。 ・生徒指導部を中心に、学校生活において気になったことを迅速に話し合い、その都度対応できるようにする。			